

平成27年度第2回総合教育会議 会議録（要点筆記）

平成27年8月31日（月） 14時00分～15時00分 秋葉3階会議室A

【水俣市総合教育会議出席者】

市長 西田 弘志
教育委員長 荒木 由紀子
委員長職務代理者 河田 奈保子
教育委員 山田 誠次
教育委員 堀 浄信
教育長 吉本 哲裕

【市長部局：事務局出席者】

総務企画部長次長（総務課長） 本田 真一
総務課 行政係 係長 赤司 和弘

【教育委員会：事務局出席者】

教育総務課長 高沢 克代
生涯学習課長 田中 慶二
指導主事 高橋 裕二
教育総務課 総務係 主幹 鎌田 みゆき
教育総務課 総務係 参事 牧 千世

【傍聴者】0名

1 開会 （司会進行：総務課 赤司係長）

市長あいさつ

2 議事 （市長招集のため、市長が議長となり進行）

(1)協議・調整事項 （説明者：教育総務課 鎌田主幹）

水俣市教育大綱（案）について

—事務局説明 資料1—

前回の会議で既に説明した内容【対象期間：平成27年度～平成29年度 水俣市総合計画及び教育委員会事業構想をベースにすること。子どもの教育から、文化、スポーツまで幅広く対応すること等】を踏まえて、教育大綱素案を2案提示。今回は意見とりまとめ、意見をできるだけとり入れた形で大綱案を次回提示予定。

- ◆ 1 案目・・・総合計画政策Ⅳを構成している 6 つの施策のうち、特に重点事業が存在している施策と教育委員会事業構想の文言と考え方をベースに基本理念を支える 5 つの柱（決意）を作成

基本理念 「新しい公共を担う、心豊かな人づくり」

水俣市の教育 5 つの決意

◇ 1 郷土を担う人づくり

地域活性化に主体的に取り組むまちづくり団体や社会教育団体の支援及び各種社会教育事業の実施により、郷土の公共を担う人材を育成します。

◇ 2 学校教育・教育環境の充実

子ども達の豊かな心・確かな学力・健やかな体を育む学校づくりを推進し、誰もが適切に学ぶことができる教育環境づくりに努めます。

◇ 3 ふるさとの力と誇りを高めるスポーツの振興

誰もが生涯を通じて気軽に参加できる生涯スポーツ活動と競技スポーツ活動を推進し、スポーツを通して地域社会全体の「ふるさと地元力」を高めます。

◇ 4 文化の薫る水俣の創造

ふるさとの歴史や文化を学び、郷土愛を育むとともに、市民の様々な文化活動を支援し、文化の薫る水俣を創造します。

◇ 5 日本一の読書のまちづくり

地域・家庭・学校における読書活動を推進し、豊かな感性と知性を育む日本一の読書のまちを目指します。

- ◆ 2 案目・・・一案目より更にシンプルに、基本理念を支える柱（決意）を 3 つに絞り作成

基本理念 「新しい公共を担う、心豊かな人づくり」

水俣市の教育 3 つの決意

◇ 1 学校教育・教育環境の充実

子ども達の確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む学校づくりを推進し、誰もが楽しく学ぶことができる教育環境づくりに努めます。

また、地域に開かれた学校づくりを推進し、様々な市民が教育に関ることにより、ふるさとを愛し、人や自然を大切に作る人間性豊かな子どもを育てていきます。

◇ 2 ふるさとの力と誇りを高める社会教育の推進

ふるさとの歴史や文化を学び、郷土愛を育むとともに、市民の様々な文化活動を支援し、文化の薫る水俣を創造します。

誰もが生涯を通じて気軽に参加できる生涯スポーツ活動と競技スポーツ活動を推進することにより、スポーツや文化活動を通して水俣の「^{ふるさと}地元力」を高めます。

◇3 郷土を担う人づくり

まちづくり団体や社会教育団体と連携し、地域の課題解決を図るとともに、市民が主役のまちづくりに努めます。

また、学校や家庭や地域が一体となり生涯にわたり学びあうことにより、新たな水俣を創造していく人材を育成します。

【意見・質問】

堀浄信委員

- ・この教育大綱の主語は、「水俣市」でいいのですか。決意に「ふるさとの力と誇りを高める社会教育の推進」とありますが、どうも主語がぼやけているように感じます。誰がどうするか明らかになるよう、例えば「誰もがふるさとの力と誇りを高める」とか主語をはっきりしたほうが良いのではないのでしょうか。

河田奈保子委員

- ・1案と2案では、決意の記載順番が変わっています。教育大綱は水俣市長が作成するものなので、総合計画に整合して、1案のように「郷土を担う人づくり」を記載順番の頭にもってくるべきではないのでしょうか。

西田弘志市長

- ・確かに記載順で一番頭にくるものが、インパクトがあるもの、力をいれているものになりますね。

山田誠次委員

- ・私は1案の5つの決意が良いのではないかと思います。3年後に見直しがあるのであれば、まずは具体的に5つの決意をあげて、より練れてきてから絞る方向性でいいのではないかと思います。

吉本哲裕教育長

- ・私は5つの決意が良いのではないかと思います。文化活動とスポーツ活動を社会教育という一括りで表現するより、ジャンルを分けた方が良いと思っています。それと大綱のベースは総合計画でありますので、「郷土を担う人づくり」が大きな視点になると思われる

ます。

荒木由紀子委員長

- ・私は「決意」というからには、2案目のように数を絞り込んで、3つぐらいにした方が良いと思います。ただ、2案目の基本理念にある「郷土の新しい公共を担う、心豊かな人づくり」と決意の「郷土を担う人づくり」は重複しているような気がしています。文でいえばむしろ決意の「郷土を担う人づくり」の方が大きいような気がします。

西田弘志市長

- ・自分としては、教育大綱は水俣市全体のこと「郷土の人づくり」をメインベースにしてつくりあげたいと思います。水俣の子ども達を、水俣の大人と一緒に育て、大きくなって、水俣から離れたとしても、水俣のことをいつまでも大切に思ってくれる人を育てたいと思います。

河田奈保子委員

- ・私は、教育大綱は1案の5項目の方が、「日本一の読書のまちづくり」など、水俣ならではの特徴が現れていて良いと思います。

荒木由紀子委員長

- ・「水俣市の教育 ○○の決意」という言葉を使っていますので、それぞれの決意のタイトルは「充実します」というような言い切りの形に全部そろえた方が良いと思います。また素案2の場合、1番のタイトルに教育環境をいれる必要はないではありませんか。学校教育の充実にソフトもハードも含まれると思います。2番のタイトルは、他のタイトルに比べ修飾的な気がするので、タイトルの作り方をそろえたほうが良いとおもいます。

荒木由紀子委員長

- ・素案の中に「地元力」と書いて「ふるさとりょく」と読ませている、所謂当て字がありますが、教育における大綱の中で、このような無理やりの当て字を使用するのはどうかと思います。

山田誠次委員

- ・先ほどは、決意が5項目の方の素案を支持しましたが、シンプルに学校教育と社会教育に言及した2項目の構成でもいいのではと思いました。

堀浄信委員（質問）

- ・生涯スポーツ活動と競技スポーツ活動の違いはなんでしょうか。

田中慶二生涯学習課長（回答）

- ・競技スポーツ活動は、体育協会を中心とする野球やバレー等のスポーツ活動ですが、生涯スポーツ活動は、グランドゴルフやビーチボール等の年齢等に関係なく皆が気軽に楽しめるスポーツ活動です。

荒木由紀子委員長

- ・私は学校教育・社会教育等の2項目でもいいと思いますが、福祉や家庭、地域等との、活動をつなぐための「連携」「協働」のような横系にあたる文言が必要ではないかと思っています。

西田弘志市長

- ・今日いただいたご意見の全部を反映はできないかもしれませんが、次回事務局で案をまとめて、再度提出させていただきます。

3 その他

水俣市いじめ調査委員会の設置について（資料に基づき報告 総務課 赤司係長）

- ・平成27年9月議会に設置条例を上程する予定。
- ・県内13市中6市がいじめ調査委員会を首長の附属機関として設置条例制定済み。残り5市も首長の附属機関として設置予定ありもしくは検討中。1市のみ調査委員会を教育委員会の附属機関としている。

堀浄信委員（質問）

- ・このいじめ調査委員会は具体的にどういった時に開かれますか。議事の可否は何をもって決するのでしょうか。

赤司係長（回答）

- ・教育委員会の調査報告を受けて、市長がもう一度調査を外部機関に行ってもらおうと判断した時に開催します。教育委員会の調査報告が適当と判断した時は開かれませんが、議事の可否については、調査委員会から市長に再調査の結論について答申する必要がありますので、答申の内容が適当かどうかの可否になります。

山田誠次委員（質問）

- ・この調査委員会は年に1回とか、定期的で開催される会になりますか。それとも招集が

かかった時のみ開かれる調査委員会になりますか。

赤司係長（回答）

- ・いつ招集があっても、応じてもらえるよう委員の委嘱はしますが、招集があった時のみ調査委員会は開催されます。

お知らせ：第3回総合教育会議開催については、当初は9月中に予定をしておりましたが、10月中になりそうです。日程につきましては、調整後お知らせいたします。